

親しく正しく和やかに

当山先々代三吉日照上人の提唱による
当山スローガンです
揮毫=大本山本興寺御開士大平日晋上人



No.12

平成 25 年 3 月 1 日 発行



季刊『寺楽寿』は東京都世田谷区北烏山の法華宗（本門流）
本覺山妙壽寺が発行する寺報です。
檀信徒の皆さまをはじめ、妙壽寺にご縁のある皆さまに
広くお読みいただければ幸いです。

本覺山 妙壽寺（法華宗（本門流））

〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 5-15-1
電話 03-3308-1251 FAX.03-3308-7427
ホームページ http://myojyuj.or.jp

無縁社会と寺縁 その10

2月18日の讀賣新聞夕刊に「東日本大震災で焼損した鐘を見つめる江岸寺の大嘗生住職（岩手県大槌町で）」という説明のある写真が掲載されました。写真には雪の上に斜め半分が割れ、焼きただれた梵鐘に数本の卒塔婆が入れられています。岩手県釜石市と山田町に挟まれた大槌町も、その甚大な被害は度々報道されてきました。

この鐘を見ると、当山山門に入って左側に安置した梵鐘を、改めて考えさせられます。草創間もない当山に、当時の名工であった釜六（大田近江大掾藤原正次）が鑄造した鐘は、深川猿江の地において関東大震災で、隣接のガス会社の爆発火災により穴が開き破損し、音も出ぬものとなり、太平洋戦争当時の金属提出を免れました。そして昭和新年堂再建の時、日本堂解体の折、その内陣柱を再利用し屋根を付して安置したものです。

当山は三三二年という時の流れの中で、江戸東京の歴史と共にあり、私共の祖先は、それは多くの災害に遭遇しながらも、忍耐と努力の上に再生復興した歴史であったように思います。当山の梵鐘を見るにつけ、それは数代の祖父母とその時代の人々が前向きに、そして血のじむような努力をして頂いたお陰で、今日の我々があるに違いありません。

間もなく迎える大震災三回忌の日に、私共はそのことを思い起こして、心に刻み、被災地の方々に心を寄せて参りたいと思います。



東祥苑（新庫裡）持仏の間

切り絵作家 中田恒郎氏 逝去

当山檀信徒、切り絵作家の中田恒郎氏（義教院法恒居士・95歳）が2月1日、逝去されました。同氏は65歳で定年後、切り絵制作に打ち込まれ、数々の秀れた作品を制作し、展覧会にて各賞を受賞されました。さらに、切り絵同好会では会長等を務め、指導者として活躍されました。

同月5日の葬儀の後の喪主ご長男・中田裕嗣氏のご挨拶で「父は、退職後の切り絵制作が生き甲斐でした。私は残念ながらその能力を継承できませんでしたが、多くの方々に教授できたことは、幸せな人生であったと思います」と感謝の言葉を述べられました。



中田恒郎作
「妙壽寺境内」
38 x 26cm

INFORMATION
(ご連絡・お申込は妙壽寺まで) 電話 03-3308-1251 FAX03-3308-7427

護法会会費についてのご案内

護法会会費は当山護寺のために、全お檀家からご理解とご協力をいただいております。下記の項目について心当たりのある方は、護法会入会の有無、会費の口数などご確認の上、変更等がございましたら、ご連絡ください。

1. 入檀時の説明不足等で、一部に入檀時からの会費をお納めいただけていない場合。
2. 入檀時からある期間お納めいただいた後、中断している場合。
3. 今まで納めていただいた登録檀家がご逝去された時に、引き継いだ方との説明不足等で、その後中断している場合。

予告
平成 25 年 5 月 4 日～6 日
関西二大本山（本能寺・本興寺）門祖日隆聖人
第 550 遠忌大法要巡拝旅行（詳細ご案内は寺務所まで）

日程予定
4日(土) 朝、東京駅集合→新大阪より尼崎大本山本興寺大法要参拝
→夕方、京都散策および夕飯会→宿泊
5日(日) 観光地見学参拝→夕方集合して夕飯会→宿泊
6日(月) 朝食後、大本山本能寺大法要参拝
→夕方、新幹線にて東京駅へ（解散午後7時頃）

妙壽寺 2013春・夏スケジュール

- 3月20日 春の彼岸法要
午前 11 時：中日合同法要 初座・動物廟法要
正午 12 時：歴代墓所・正隆廟法要
午後 2 時：中日合同法要 第二座
- 5月1日 猿江稲荷大祭
午前 11 時：大祭法要
法要後、スカイツリー展望の錦糸町東武ホテルにて
昼食懇親会
集合：猿江稲荷社前（江東区猿江 2-5）
参加費：参加料 3000 円（猿江稲荷崇敬会費・お土産）
昼食は実費（3000 円程度）
- 7月16日 孟蘭盆施餓鬼法要・棚経（たなぎょう）
午後 1 時：法話 午後 2 時：法要
7月上旬から15日まで、各お檀家にお盆棚経に
担当僧侶が伺います。

正隆会 [SHORYU-kai] 月例講 ご案内
当山では、毎月第2土曜日午後2時より月例講正隆会を開催しております。仏教や法華経についての勉強会や写経会、またウォーキング課外活動を行っています。檀信徒、ご友人などなたでも参加できます。例会は、毎月1時半より正隆廟前法要を奉修しております。

4月13日(土)	写経会
5月4日～6日	関西二大本山（本能寺・本興寺） 門祖日隆聖人 第550遠忌法要巡拝旅行
6月8日(土)	勉強会「心が温かくなる日蓮の言葉」 拝読 8
7月13日(土)	興隆学林教授・平島盛龍先生講師勉強会
8月	休講



●1月19日 新年会・総会
午後2時より本堂において平成25年年頭会の祈願法要が執り行われ、3時より総代世話人婦人会および職員等50余名の出席のもと、役員・婦人会総会を開催。昨年の事業報告と本年度の行事予定、事業計画等を協議いただきました。

4時から懇親の新年会が開かれ、今回は昨年9月3日に当住上人と宮城県女川町被災地訪問に同行された落語家・三遊亭こうもり師（写真）を招き、落語一席と、福引きが賑々しく行われました。



読経の梅原師（手前）と石塚師（その奥隣）。麗子さんを演じる内山さんと、隣（手前）は実弟・大原政光さん

●1月20日 長国寺先代二十七回忌法要
西の市主催で有名な浅草西の寺・長国寺の先代住職本立院日雄上人（大本山鷲山寺御歴世）の第二十七回忌法要が感応寺住職福島典雄御導師にて、組寺・御弟子上人出仕、関係各位の出席により厳かに営われました。

●1月23日 教区新年会
銀座アスター御茶ノ水水産館において、平成25年東京教区新年会が寺院教会上人30余名にて開催され、本年の諸行事について報告が行われ、なごやかな会となりました。

●1月30日 全日本仏教会新年会
港区芝のザ・プリンスパークタワー東京にて、全日本仏教会の新年懇親会が開催され、加盟団体メンバーとして、当住上人が参加されました。

●2月3日 節分会
恒例の節分会法要が10名余にて奉修され、本堂正面、玄関にて豆まきが行われました。

●2月9日 大原麗子邸で供養法要
国際放映㈱のご依頼により、3月に上映されるテレビ東京ドラマスペシャル「女優 麗子 炎のように」（内山理名主演）の撮影初日、大原麗子さんが暮らした都内の大原邸にて供養法要とドラマ成功祈願の法要が営われました。

●2月22日 京都市キャンパスプラザにおいて第26回法華宗教学研究発表大会が行われ、基調講演等いずれも熱の入った発表で、終了後は懇親会が開催されました。

●2月25日 日隆上人第五〇遠忌御正當会
法華宗再興通導導師門祖日隆聖人御入滅（寛正5年1464）より御正當にあたるこの日、当山本堂において、ご報恩謝徳の唱題行が執り行われました。

●2月28日 婦人会、ヤクルト化粧品工場見学
新宿駅と藤沢駅で待ち合わせ、婦人会総勢17人で、藤沢市のヤクルト本社湘南化粧品工場へ見学。

製品が作られる行程を勉強しながらお目当ては試供品コーナーへ。効果を期待しながらお土産を手に、鎌倉山ローストビーフの藤沢支店へ向かいました。ランチから参加の当山職員も加わり、楽しく美味しい牛肉を堪能しました。

食後は当住上人が兼務している晴明庵へ。昔の海の別荘の面影を残す建物と、庭に懐かしさを感じながら皆さんでお参りしました。歴代尼上人も喜んでくださったことと思います。

児童稚児募集

稚児お練り供養では、子供たちの福智円満を祈り、得難い仏様の勝れたお導きの因縁をいただけます。5年に一度の行事です。この機会に是非、ご参加いただきますようご案内いたします。

- 11月3日(日・文化の日) お会式
集合時間午前11時30分
- 募集定員：50名
(定員次第第切り)
- 参加費：1名6000円



